



漕代小学校だより



松阪市立漕代小学校 令和7年5月30日(金) N0.7

ホームページ <http://www.koishirosho.com>

E-mail: koishiro2es@matsusaka.ed.jp

校長 橋本 恵美子

閉校行事パート2 大遠足を終えて

5月27日(火)は、大阪・関西万博に総勢130人で行ってきました。その日は、午前中は薄曇り、お昼過ぎからはからりと晴れて過ごしやすい日になりました。

1年生から6年生の縦割りのなかよし班で行動しました。

6年生は、事前にパビリオンの下調べをして、低学年にも楽しめるように見学ルートを考えていました。当日、交通事情により到着が遅れましたが、臨機応変に見学のルートを変更し、多くのパビリオンを回れたようです。主体的に行動するその姿は、本当に立派でした。5年生は、当日、6年生を補佐して1・2年生のお世話をしていました。3・4年生は、自分のことは自分でできるという自信のもと、班から外れることなくきばきと動いていました。しかもみんな満面の笑みで、本当に立派でした。みんなみんな誇れる漕代の子どもたちでした。



オーストラリア館は人気で、なかなか入れそうになかったのですが、団体の小学生ということで、別ルートへ案内され、入れていただけたそうです。

他にも、スペイン館、ドイツ館など人気パビリオンにも入れたそうです。ある班は、並ばずコモンズを4つ回ったということもありました。知らない国や珍しいものに触れ、帰りの集



合場所出会うと、目を輝かせて口々にいったパビリオンのことを先を競うように教えてくれました。「楽しかった？」という問いかけに、「うん、すごく。」「また、来たい。」と答えてくれました。



1月末に、「万博に行きたいです。」と子どもたちに言われ、決定したこの企画でした。手続きなど事務処理を担っていた教頭は本当に大変そうでしたが、子どもたちがこんなに喜んでくれたのならやってよかったと思いました。しかし、このように子どもたちが、主体的に動き、怪我なく、活動を楽しめたのには、各班についてくださったボランティアの皆さんあってのことです。本当にありがとうございました。陰で子どもたちを見守りサポートしてくださいました。子どもたちもよくわかっていたと思います。それぞれの感謝の思いをきちんと伝え、帰路についたと思います。6年生の西出奏太さんが帰り際に、「万博楽しかったです。

校長先生、ありがとうございました。」と頭を深く下げていてくれました。1日の疲れがふき飛ぶほど、うれしかったです。

また、最後の大遠足に参加してくださった地域の皆さま、お楽しみいただけたでしょうか。滞在時間が4時間と短かったのですが、楽しい思い出の一つにいただけたら幸いです。ありがとうございました。



たくさんの地域みなさんに参加していただき、子どもたちもうれしそうでした。「子どもの数より、ずっと大人の数の方が多い。」と驚く1年生に、隣の6年生が「そりゃそうさ、おじいちゃんやおばあちゃんも、漕代小の卒業生やもん。これは閉校行事やしな。」と、答えていました。その言葉に、地域みんなの小学校が閉校するというさびしい思いが表れているようでした。その後で、また1年生が「ああそうか、みんなで僕らを守ってくれとるんや。」とうれしそうに言いました。地域の学校がなくなる寂しさ、地域の人に見守られるうれしさ、学年に応じてこの大遠足を通して地域の方々への思いもいろいろだなあと感じました。

次は、閉校行事パート3(11/8、11/9、)大文化祭に向けて地域の方々とともに踏み出そう。

裏面は万博の写真です



「楽しい」が
いっぱい

みんなで最後の漕代なかよし大遠足



校長と数人はいないけど、
ほぼ全員写真

